

5月4日付公表「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第4次評価報告書第3作業部会報告書（気候変動の緩和策）の公表について」の修正について

平成19年5月15日
環 境 省

5月4日、午後3時に公表いたしました「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第4次評価報告書第3作業部会報告書（気候変動の緩和策）の公表について」の一部に誤りがありましたので、下記のとおりお知らせ致します。

記

p3 [長期的な緩和 (2013~)] の3つ目の 中、

< 誤 >

「2050年において、温室効果ガスを 450~650ppmCO₂-eq の間で安定化させた場合のマクロ経済影響は、世界平均でGDP1%の増加から5.5%の損失までの値を取る。影響は国やセクターにより異なる。」

< 正 >

「2050年において、温室効果ガスを 445~710ppmCO₂-eq の間で安定化させた場合のマクロ経済影響は、世界平均でGDP1%の増加から5.5%の損失までの値を取る。影響は国やセクターにより異なる。」

本件に関する問い合わせ先

環境省地球環境局総務課

研究調査室

担当：塚本、名倉、平野、塚原

（内線 6735）